

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行番. NO. 2108	
日 時 2026年02月14日(土) 晴・山頂強風	
山 域 北八ッ・北横岳(2480m)～三ッ岳(2360m)	
コース ピラタスロープウェイ山麓駅発 6:08-山頂駅 8:54-坪庭-北横岳ヒュッテ 9:53-北横岳 10:18-ヒュッテ 10:30~45-三ッ岳分岐 10:53-三ッ岳 3 峰 11:24-3 峰下 12:06-雨池山展望台 12:41-雨池峠 12:52-山頂駅 13:24-山麓駅 13:35-長泉 16:00	
標高差 山麓駅約 1750m～北横岳 2480m＝約 730m＋雨池山展望台上り返し約 100m	
難易度 非常に困難 困難 レやや困難 普通 やや易しい 易しい	
初見の怪峰・三ッ岳 3 峰に上る	
参加者 後藤、峰田、斎藤＝3名	

山麓駅からはイイ感じ

長い間の登山だが、ピラタスから北横岳は初見だった。良く冷えた早朝、山麓駅から登山開始。脇にスキーゲレンデがあるためか樹木が少なく快適。ゲレンデ整備のロータリーが静寂を破る。

単独女子が抜いて行った。この方、坪庭先で登頂して下って来た。「ええ～」だったが、老婆心ながら、こんな登山って楽しい??!!



山頂駅



坪庭入り口

「溶岩円頂丘」を上る

坪庭から少し下って、北横岳を象徴する標高差約 100mの断崖を上る。この断崖、北横岳を鉢巻状に囲っているが、何とも特異な地形で、「溶岩円頂丘」といわれる。

断崖を上ると「北横岳ヒュッテ」着。厳冬期だが営業していた。天気は素晴らしく、キレイな蒼穹が広がっていた。

ヒュッテからダラダラ上りで山頂着。風が強かった。今期、12月にKさんと北面の竜源橋から上ったから2度目。12月は厳しい山だった。



北横岳山頂

三ッ岳は難路だった

山頂は強風なので早々に下山しヒュッテで食事。まだ、ロープウェイ登山者が来ないので静かだった。ヒュッテから三ッ岳分岐は近い。多くの方は往路を戻るので、三ッ岳に向かう方は少ない。

分岐から踏み跡は減った。歩き難い。若い衆が3名抜いていった。道は岩が多かった。そういえば分岐に、「岩が多く難路注意」とあった。雪が少ないと更に歩き難いだろう。ようやく三ッ岳最高峰の3峰にかかる。



三ッ岳 3 峰から北横岳



三ッ岳～雨池山最低部

山頂の標識は 3 峰と表示。この山は、複合峰で 1～3 峰で構成だろうか。ただ、1・2 峰は不明だった。展望は良く北横岳・蓼科山・南八ツが素晴らしい。

下山開始。下りは、例の標高差約 100m の断崖を下る。しかし、往路のようなジグザグでなく、ほぼ真っすぐ下っていた。そこに風下で深い雪が積もって、グズグズで実に歩き難い。ここは絶対、上ってはいけない道と思った。しかし、何と外人を含んだ男子 3 名が上って来た。

果たして、ここを無事に上ることが出来るだろうか。ラストの若い衆は、「既に足がパンパン」といった。ようやく、雨池山との最低部に下りた。ただ、ここから雨池山展望台までの上り返し標高差約 100m が地獄だった。

三ッ岳から直接、縞枯山荘に下れば良いが道はそうでなかった。今回、ここが一番キツかった。たかが、標高差 100m だが・・・。下山後、ヤマップの記録を見たが、「確かに難コース」の表現が多かった。



縞枯山荘



ロープウェイから「つぶれパンダ」の蓼科山

展望台から雨池峠を経て山頂到着。あと 1 時間、歩いて下りたいところだが、同行者が、19 時まで車検済車を取りに行くのでロープウェイで下った。所要時間は 8 分。経費 1400 円。

窓外の蓼科山が「つぶれパンダ」の様で面白かった。

眼下にボーダー・スキーヤーが縦横に滑降。天気は相変わらず良かった。

駐車場は満杯だった。女子も頑張っていて、いい山でした。